

第6学年4組 外国語科指導案

令和5年11月22日(水)

指導者 飯島 加奈子

ALT Nadine Wright

1 単元名 Let's think about our food. ～オリジナルカレーを発表しよう～

(NEW HORIZON Elementary 6 Unit 6)

2 単元の目標

自分のオリジナルカレーを身近な人によく知ってもらうために、オリジナルカレーの食材や栄養素、産地などについて聞いたり、自分の考えや気持ちを含めて話したりすることができる。また、自分が伝えたい内容について例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。

3 関連する領域別目標

聞くこと	ウ ゆっくりはっきり話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (発表)	<p>〈知識〉 I ate～. I usually eat～. ～is from ～. ～is in the～group. 及びその関連語句などについて理解している。</p> <p>〈技能〉 I ate～. I usually eat～. ～is from ～. ～is in the～group. 及びその関連語句などを用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。</p>	<p>自分のオリジナルカレーを身近な人によく知ってもらうために、オリジナルカレーの食材や栄養素、産地などについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。</p>	<p>自分のオリジナルカレーを身近な人によく知ってもらうために、オリジナルカレーの食材や栄養素、産地などについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。</p>

5 基盤

(1) 教材観

本単元は、自分たちの食生活と世界とのつながりを考え、身近な食について目を向けられる単元である。社会科や家庭科、食の学習と関連づけながら、食に関係する英語表現に出合う。給食で児童に人気のメニューの一つであるカレーを取り上げる。食材の栄養素の表現の学習には、栄養教諭と連携する。単元の終末には、地元の食材も取り入れた自分の「オリジナルカレー」を考え、国際交流員に向けて発表する。栄養教諭と連携することで、給食採用も視野に入れて取り組む。児童は、自分の身近な事として、関心をもって、意欲的に取り組める内容であると考えている。

(2) 児童観

個人情報保護のため省略

(3) 指導観

1学期に学習したUnit 3 のおすすめの国紹介では、インドのカレーを紹介した児童がいた。世界にはたくさんの種類のカレーがあるが、インドはカレーの発祥の地であることから、インドのカレーをUnit 6 で取り上げたいと考えた。そこで、本単元の導入で、インド出身の松江市国際交流員を招待し、インドの食文化について学ぶ機会を設ける。インドならではの食材や、日本との食文化の違い等に気付かせたい。異文化理解を深めることで、他者を尊重したり、自国の食文化、島根の食材についても考えたりするきっかけとしたい。また、インド出身の国際交流員に児童が英語で質問する時間を設ける。既習の英語表現を使って、英語を通じて伝え合える喜びを感じさせたい。

単元全体を通じて、児童が見通しをもって学習に取り組めるよう学習の流れや英語表現を分かりやすく視覚的に示す。単元のゴールを意識できるように、児童と単元ゴールを確認しながら授業を展開していく。児童が「言いたい」表現を自信をもって英語で伝えられるよう、松江市や島根県産の食材や味などを英語の絵カードで紹介し、表現に慣れ親しむ活動を取り入れる。

オリジナルカレーの発表に向けて、まず、教師が考えたオリジナルカレーの発表を紹介することによって、児童に活動のイメージをもたせる。オリジナルカレーの発表にアピールポイントを加えることで、友達がどんな思いで「オリジナルカレー」を考えたのか「聞きたい」という意欲を高めていきたい。

「オリジナルカレー」の内容については、思いや考えを膨らませ、それらを可視化することができるようマッピングシートを活用する。何を話してよいか分からない時に、児童はマッピングシートを手がかりに、自分の伝えたいことを考えながら安心して話すことができるようになる。また、友達を変えてやりとりを繰り返し、シェアタイム（中間評価）を通じて、内容を整理して、より分かりやすく自分の考えや気持ちを話せるようにしていきたい。相手を意識した話し方ができるように、タブレットを使って、録画して自分の発表を見て振り返る。また、友達の発表を見てアドバイスし合ったりする時間も設

定し、どのような語句や表現を用いると、より自分の考えや気持ちが伝わるのか考えさせたい。単元の終末には、オリジナルカレーを発表する姿をビデオに撮り、国際交流員に送るという設定をする。その後、国際交流員からメール等でコメントをいただくことで、児童はより達成感が高まると考える。

「オリジナルカレー」の発表を通じて、自分のオリジナルカレーを友達、栄養教諭、ALT、国際交流員にわかってもらえる嬉しさや友達のオリジナルカレーを知る楽しさを味わえるようにしたい。相手の思いや考えを大切にしながら、相手とのやり取りを楽しみ、自分の考えや気持ちを伝え合おうとする児童を育てていきたい。

小学校で目的意識・相手意識をもって、英語でコミュニケーションを楽しむ体験を重ねることは、中学校で生き生きと英語で自己表現する姿につながると考える。

6 単元計画（全8時間 本時4／8）

時	目標◎ 活動・【】	評価			
		知	思	態	評価規準〈評価方法〉
1	◎インドの言語や食文化について国際交流員から話を聞き、インドについて理解を深めることができる。 ・インドについて知りたいことを既習表現の英語で質問する。 ・単元のゴールを確認する。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
2	◎普段食べているカレーについて話することができる。 【Let's Sing】 【Word Link】食べ物、食材、島根の食材 【Starting Out】 ・ALTの好きなカレー（ジャマイカ） ・ペアで普段食べているカレーについて話す。 【Let's Read and Write 2】				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
3	◎食材とその産地について話することができる。 【Let's Listen1】 【Let's Try2】 【Let's Chant】 ・オリジナルカレーのマッピングシート、絵カードを作る。 【Sounds and Letters 6, 7】				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。

4 本時	<p>◎オリジナルカレーについてアピールポイントを入れて話すことができる。</p> <p>【Let's Chant】</p> <p>【Small Talk】 昨日食べたもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者のオリジナルカレーを聞く。 ・自分のオリジナルカレーを紹介する。 <p>【Let's Read and Write 3】</p>			<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
5	<p>◎食材とその栄養素について話すことができる。</p> <p>【Let's Chant】</p> <p>【Small Talk】 今朝食べたもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT が考えたオリジナルカレーを聞く。 <p>【Let's Listen 2】</p> <p>【Let's Try 3】</p> <p>【Let's Read and Write 4】</p> <p>【Sounds and Letters 6, 8, 9】</p>			<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
6	<p>◎オリジナルカレーについて食材の栄養素を入れて話すことができる。</p> <p>【Let's Sing】</p> <p>【Step 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルカレーについて紹介する。タブレットに録画する。よりよくするためのアドバイスをする。 	話		<ul style="list-style-type: none"> ・ ~is from ~. ~is in the~group.及びその関連語句などの表現を用いて話すことができる。【知】(行動観察、録画した動画、振り返りカード)
7	<p>◎オリジナルカレーについて例文を参考に書くことができる。</p> <p>【Let's Chant】</p> <p>【Small Talk】 好きな給食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルカレーの紹介文を書く。 ・感想を発表する。 <p>【Sounds and Letters 10 Quiz 10】</p>			<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
8	<p>◎自分のオリジナルカレーを身近な人によく知ってもらうために、カレーの食材の産地や栄養素などについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルカレーの発表 	話	話	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のオリジナルカレーを身近な人によく知ってもらうために、オリジナルカレーの食材や栄養素、産地などについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。【思】(行動観察、振り返りカード)。 ・自分のオリジナルカレーを身近な人によく知ってもらうために、オリジナルカレーの食材や栄養素、産地などについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。【主】(行動観察、振り返りカード)。

7 本時の学習（4／8時間）

(1) 目標

オリジナルカレーについて、相手の内容を聞き取ったり、食材や産地、自分の考えや気持ちなどを話したりすることができる。

(2) 展開

学習場面と子どもの取組	教師の支援
<p>1 挨拶をする。</p> <p>2 Let's chant</p> <p>3 Small Talk 昨日食べたもの</p> <p>4 前時の振り返りと本時のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・笑顔で挨拶し、明るい雰囲気を作る。 ・チャンツの前に産地の英語表現を確認する。 ・Picture Dictionary を使ってもよいことを伝える。 ・会話を楽しめるようあいづちや質問をするよう声をかける。 ・単元のゴールを再確認する。(何のために、誰に向かって発表するのか。)
<p>オリジナルカレーについて、アピールポイントを入れて話そう。</p>	
<p>(1) 指導者のオリジナルカレー紹介を聞き、内容やアピールポイントを確認する。</p> <p>I:指導者 N:ALT デモンストレーション</p> <p>I: This is my original curry.</p> <p>N: What's this?(絵を指さす)</p> <p>I: It's agonoyaki. Do you like it?</p> <p>N: Yes, I do.</p> <p>I: Me,too. The agonoyaki is from Matsue.</p> <p>I: It's soft and delicious.</p> <p>N: I want to eat it.</p> <p>N: What's this?(絵を指さす)</p> <p>I: It's eggplant. White and purple.</p> <p>I: The eggplants are from Shimane.</p> <p>They are fresh.</p> <p>N: Wow, eggplants?</p> <p>I: I like eggplants.</p> <p>予想される児童の反応（聞き取った主な内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あごのやきは柔らかくておいしい。 ・なすは島根産。 ・飯島先生はなすが好き。 <p>(2) 自分のオリジナルカレーを紹介する。 (ペア)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板に絵カードを写し出したり、ジェスチャーなどを使ってアピールポイントを伝えたりする。 ・ALT は指導者のカレー紹介を聞いて、質問したり、反応をしたりするなど、児童の聞き方のモデルを示す。 <p>・聞く時に、英語で反応したり、質問したりするよう伝える。</p>

<p>(3) 話す時、自分が困ったことや友達のアピールポイントの良さなどを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地の英語表現をもう一度練習したい。 ・「しじみは栄養がある」「いろどりがよい」をどう英語で伝えたらよいか。 ・〇〇さんがさつまいもの味を sweet と伝えていていいなと思った。 <p>(4) ペアを変えて紹介し、振り返る。(2回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目に言えなかった delicious を付け加えて言えるようになった。 ・1回目よりもスムーズに産地を言えた。 <p>5 絵カードの4線に産地を丁寧に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書いたものをペアで読み合う。 <p>6 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんみたいに、like を付け加えて次回は伝えたい。 ・今日はれんこんの味が言えなかったけど、次回は味を考えて付け加えて言いたい。 ・おいしいのでぜひ食べてほしいと英語でアピールしたい。 ・いろんな友達のカレーの内容を聞きたい。 ・〇〇さんのしじみカレーいい考え。おいしそう。給食で出てきたらうれしいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや気持ちがわかりやすく伝えられている児童を取り上げ、良いところに気付くよう問いかける。 ・2回目には内容や伝え方をレベルアップできるように、個別に声がけをしたり、必要があれば、全体で英語表現を確認したりする。 ・マッピングシートに付け加えたいことを赤で目印をつけるよう伝える。 ・付け加えた内容を2回目に使ってみよう伝える。 <p>見届けの視点</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>オリジナルカレーについて、入れたい食材や ~is from~, It's ~, などを用いて、考えや気持ちなどを聞いたり言ったりしている。</p> <p>【思判表】(マッピングシート、行動観察)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・地名の始めの文字は大文字で書くよう伝える。 ・単元のゴールに向けた振り返りやめあてに沿った振り返りを称賛する。次時への見通しをもてるように次の内容を伝える。
---	---

(3) 見届けの視点

目標が達成されたと判断できる状況	支援を要する状況への手立て
<p>オリジナルカレーについて、入れたい食材や~is from~, It's ~, などを用いて、考えや気持ちなどを聞いたり言ったりしている。</p>	<p>ペア活動の時に、黒板に掲示しているフレーズや自分の絵カードやマッピングシートなどを使ってペアで話すよう伝える。個別に声をかけ、一緒に考えたり、全体で共有して考えたりする。</p>